

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月12日
上場取引所 東

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社
 コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員会長兼社長 (氏名) 乙部 辰良
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大和田 徹 TEL 03 (6229) 0881
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	87,842	11.9	7,350	14.3	1,868	7.9
2024年3月期第3四半期	78,466	11.6	6,427	24.2	1,731	24.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,596百万円 (55.4%) 2024年3月期第3四半期 1,671百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	75.28	—
2024年3月期第3四半期	69.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	213,806	42,145	19.7
2024年3月期	210,265	39,995	19.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 42,022百万円 2024年3月期 39,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期（予想）				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,000	7.9	9,400	14.1	1,900	31.0	76.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	24,820,530株	2024年3月期	24,820,530株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	142株	2024年3月期	142株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	24,820,388株	2024年3月期3Q	24,820,418株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結損益計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

※ 当社Webサイトに決算情報の補足説明資料を掲載しておりますので、ご参照ください。

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 当社グループの経営成績

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	対前年同四半期 増減率 (%)
経常収益	78,466	87,842	11.9
経常利益	6,427	7,350	14.3
親会社株主に帰属する四半 期純利益	1,731	1,868	7.9

経常収益は、すべての事業における保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期に比べ9,375百万円増加し、87,842百万円(前年同期比11.9%増加)となりました。この増収効果が、前年同期に実施した生命保険事業での再保険の出再比率変更などによる一過性の影響や保険金支払いの増加などのマイナス要因を吸収し、経常利益は前年同期に比べ922百万円増加の7,350百万円(同14.3%増加)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、団体信用生命保険の取扱いが順調に増加したことに伴い、経常利益から控除する契約者配当準備金繰入額が大幅な増額計上となりましたが、繰延税金資産の計上による税金費用の減少や増収効果が寄与し、前年同期に比べ136百万円増加し1,868百万円(同7.9%増加)となりました。

なお、参考情報として、生命保険事業における特別勘定(※)に係る収益を除いた経常収益について、下記に記載しております。

(※) 変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

<参考情報>

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	対前年同四半期 増減率 (%)
特別勘定に係る収益を除いた 経常収益	75,598	86,575	14.5

② セグメントごとの経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	経常収益			セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益)		
	第3四半期連結累計期間		増減率 (%)	第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	2024年3月期	2025年3月期		2024年3月期	2025年3月期	
損害保険事業	27,134	30,131	11.0	1,573	1,576	0.2
生命保険事業	27,955	33,146	18.6	596	629	5.5
少額短期保険事業	23,533	24,718	5.0	1	123	8,582.3
報告セグメント計	78,623	87,997	11.9	2,170	2,329	7.3
セグメント間消去又は調整	△156	△154	—	△439	△460	—
四半期連結損益計算 書計上額	78,466	87,842	11.9	1,731	1,868	7.9

(注) セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

中古車販売店「ガリバー」を運営する株式会社IDOMと連携し、同社の修理工場へ入庫された自動車の修理内容や進捗状況をスマートフォン等で適時確認出来るシステムの導入に取り組むなど、自動車修理プロセスの透明性を確保する態勢構築に努めました。また、三井住友カード株式会社のカード会員様向けに、一般に比べ割安な保険料でご加入いただける団体がん保険「三井住友カード実額補償がん保険(正式名称:がん治療費用総合保険)」の募集を行い、パートナー企業とのアライアンスを通じた顧客基盤の拡大にも取り組みました。こうした取り組みの結果、2024年12月末の保有契約件数(団体がん保険の被保険者数を含む)は1,312千件(前年度末比3.4%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加などにより、前年同期比11.0%増加の30,131百万円となりました。セグメント利益は、雹(ひょう)災などにより自動車保険の保険金支払いが前年同期に比べ増加したことから、前年同期比0.2%増加の1,576百万円にとどまりました。

(生命保険事業)

住宅ローン専門金融機関のSBIアルヒ株式会社と生命保険募集代理店業務委託契約を締結し、同社の住宅ローンオンライン相談サービス「ビデオチャット相談」において、SBI生命保険株式会社の保険商品の販売が開始されるなど、グループシナジーを活用した販路の開拓を推進しました。また、昨年度よりコールセンターにおいて運用を開始している生成AI等のテクノロジーをバージョンアップすることにより、オペレーターの教育期間の短縮を図りつつ、これまで以上にお客様とのスムーズなやり取りを実現するなど、DX推進によるお客様の更なる利便性の向上と業務の効率化に取り組みました。こうした取り組みの結果、2024年12月末の保有契約件数(団体信用生命保険の被保険者数を含む)は599千件(前年度末比14.1%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加などにより、前年同期比18.6%増加の33,146百万円となりました。セグメント利益については、前年同期に実施した再保険の出再比率変更などによる一過性の影響や保険金支払いの増加などのマイナス要因を増収効果が吸収し、前年同期比5.5%増加の629百万円となりました。

(少額短期保険事業)

SBIいきいき少額短期保険株式会社は、2024年12月より、お客様が抱える将来の介護に対する不安に備え、ご家族と安心して過ごしていただけるよう、お客様の声に応えるかたちで商品化した「SBIいきいき少額の介護保険」の販売を開始しました。また、SBI日本少額短期保険株式会社は、保険契約管理システムと家賃債務保証サービスを提供する企業の保証管理システムとの連携先の拡大に努め、賃貸住宅に入居されるお客様の利便性向上と同社の代理店である不動産管理会社の業務効率化に取り組みました。こうした取り組みの結果、2024年12月末の保有契約件数は1,038千件(前年度末比1.2%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加などにより、前年同期比5.0%増加の24,718百万円となりました。セグメント利益は、この増収効果に加え、普通責任準備金(※)の積み立てが前年同期に比べ減少したことなどにより、前年同期比8,582.3%増加の123百万円となりました。

(※) 普通責任準備金は、決算日後の保険金等の支払義務を果たすために積み立てる責任準備金の一つであり、未経過保険料及び保険料積立金の合計額と初年度収支残を比較し、大きい方の金額を普通責任準備金として積み立てます。初年度収支残は、当期の収入保険料から、当該保険契約のために支出した保険金等及び当期の事業費を控除して算出されます。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前年度末に比べ3,541百万円増加し、213,806百万円となりました。主な増減は、現金及び預貯金の減少4,926百万円、有価証券の増加7,274百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前年度末に比べ1,390百万円増加し、171,661百万円となりました。主な増減は、責任準備金の増加2,392万円、支払承諾の減少600百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当により446百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益1,868百万円を計上したことや、その他有価証券評価差額金が前年度末に比べ716百万円増加したことなどにより、前年度末に比べ2,150百万円増加し、42,145百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月31日公表の2025年3月期の連結業績予想及び期末配当予想に変更はありません。

なお、2025年1月31日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	(参考) 2024年3月期 実績 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	2025年3月期 連結業績予想 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	対前年度増減率 (%)
経常収益	109,339	118,000	7.9
経常利益	8,236	9,400	14.1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,450	1,900	31.0
1株当たり当期純利益(円)	58.45	76.55	

また、2025年1月31日に公表いたしました2025年3月期の期末配当予想は次のとおりであります。

(参考) 2024年3月期 実績 期末配当	2025年3月期 期末配当予想
18円 (記念配当3円を含む)	23円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	33,542	28,615
買入金銭債権	717	1,854
金銭の信託	186	279
有価証券	143,649	150,924
貸付金	129	173
有形固定資産	794	890
建物	446	439
リース資産	1	4
その他の有形固定資産	347	447
無形固定資産	7,534	7,283
ソフトウェア	4,000	3,956
のれん	2,928	2,776
その他の無形固定資産	604	549
代理店貸	164	57
再保険貸	8,541	9,705
その他資産	13,909	13,201
繰延税金資産	396	721
支払承諾見返	700	100
貸倒引当金	△0	△0
資産の部合計	210,265	213,806
負債の部		
保険契約準備金	143,533	146,315
支払備金	23,113	23,428
責任準備金	114,332	116,724
契約者配当準備金	6,087	6,161
代理店借	447	320
再保険借	7,284	7,723
その他負債	16,990	15,759
退職給付に係る負債	17	17
価格変動準備金	1,097	1,195
繰延税金負債	198	229
支払承諾	700	100
負債の部合計	170,270	171,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,375	8,375
資本剰余金	32,061	32,061
利益剰余金	6,000	7,422
自己株式	△0	△0
株主資本合計	46,436	47,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,552	△5,835
その他の包括利益累計額合計	△6,552	△5,835
非支配株主持分	110	122
純資産の部合計	39,995	42,145
負債及び純資産の部合計	210,265	213,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	78,466	87,842
損害保険事業	27,031	30,030
保険引受収益	26,375	29,337
正味収入保険料	26,358	29,318
積立保険料等運用益	16	19
資産運用収益	625	679
その他経常収益	30	12
生命保険事業	27,944	33,135
保険料等収入	23,430	29,985
保険料	17,059	20,843
再保険収入	6,371	9,142
資産運用収益	4,504	3,080
利息及び配当金等収入	1,221	1,685
有価証券売却益	411	54
為替差益	—	70
貸倒引当金戻入額	—	0
その他運用収益	3	1
特別勘定資産運用益	2,867	1,267
その他経常収益	8	70
少額短期保険事業	23,490	24,677
保険料等収入	23,254	24,392
資産運用収益	0	1
その他経常収益	236	283
経常費用	72,038	80,492
損害保険事業	25,263	28,573
保険引受費用	17,302	20,256
正味支払保険金	16,814	18,807
損害調査費	3,051	3,235
諸手数料及び集金費	△2,978	△3,111
支払備金繰入額	199	377
責任準備金繰入額	214	947
その他保険引受費用	0	0
資産運用費用	500	336
営業費及び一般管理費	7,455	7,978
その他経常費用	6	1

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
生命保険事業	22,913	27,111
保険金等支払金	17,352	20,611
保険金	4,762	6,321
年金	607	556
給付金	949	1,130
解約返戻金	2,692	2,044
その他返戻金	945	972
再保険料	7,395	9,587
責任準備金等繰入額	182	1,092
支払備金繰入額	54	—
責任準備金繰入額	128	1,092
資産運用費用	843	807
支払利息	2	13
有価証券売却損	0	0
金融派生商品費用	607	633
為替差損	65	—
貸倒引当金繰入額	0	—
その他運用費用	167	159
事業費	3,966	4,029
その他経常費用	568	569
少額短期保険事業	23,411	24,351
保険金等支払金	14,740	15,784
責任準備金等繰入額	868	384
事業費	7,774	8,154
その他経常費用	28	28
その他	449	455
経常利益	6,427	7,350
特別利益	40	—
負ののれん発生益	18	—
新株予約権戻入益	21	—
特別損失	96	128
固定資産処分損	2	29
価格変動準備金繰入額	94	98
契約者配当準備金繰入額	4,120	5,073
税金等調整前四半期純利益	2,250	2,148
法人税及び住民税等	407	582
法人税等調整額	100	△313
法人税等合計	508	268
四半期純利益	1,742	1,879
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,731	1,868

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,742	1,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	717
その他の包括利益合計	△71	717
四半期包括利益	1,671	2,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,658	2,584
非支配株主に係る四半期包括利益	12	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書に関する注記)

生命保険事業のその他経常収益の内訳は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
支払備金戻入額	一百万円	56百万円
その他の経常収益	8	13
計	8	70

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	27,031	27,944	23,490	78,466	—	78,466
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	102	11	42	156	△156	—
計	27,134	27,955	23,533	78,623	△156	78,466
セグメント利益(注) 3	1,573	596	1	2,170	△439	1,731

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△439百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注)1						
外部顧客への経常収益	30,030	33,135	24,677	87,842	—	87,842
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	101	11	41	154	△154	—
計	30,131	33,146	24,718	87,997	△154	87,842
セグメント利益(注)3	1,576	629	123	2,329	△460	1,868

(注)1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△460百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	1,399百万円	1,364百万円
のれんの償却額	152	152